

ライフスタイルと環境班

君の名は。

your name.

～宿舎**全全全**世帯間のコミュニケーションを深めよう～

徳田伊織 杵屋溪造 桑原里奈 鈴木賢人 信賀春輝

中野奈美 太田和志 西美佳 長山寛之

指導教員：甲斐田直子 TA：増田祐太郎



発表の流れ



背景

→ 目的

→ 定義

→ 事前アンケート

→ 提案

→ 試行

→ 事後アンケート

→ 分析・考察

→ 今後の提案



背景



入学前、寮に住んだ経験がある二人。

宿舎、もっと
仲良い友達増えると
思ってた。

寮も隣の寮と
関わり薄いよな。。。

筑波大学学生宿舎では、

満足にコミュニケーションがとられていない？

柰屋 溪造

宿舎経歴：一の矢宿舎(1年次)

寮経歴：6年

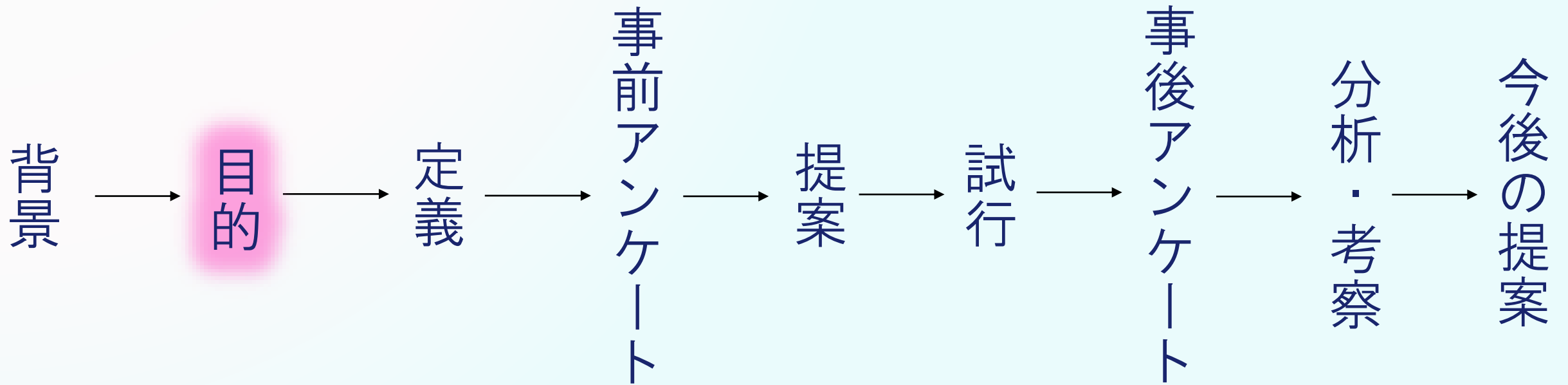
徳田 伊織

宿舎経歴：一の矢宿舎(1年次)

寮経歴：1年



発表の流れ





目的



宿舎

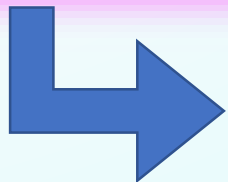
＝所属が全く違う人とも共同生活を送る

新たな
コミュニケーション

隣人との気まずさ

～目的～

- ・ コミュニケーションをとりたい人にきっかけを与える
- ・ 宿舎でのコミュニケーションを満足させる



快適な生活

+

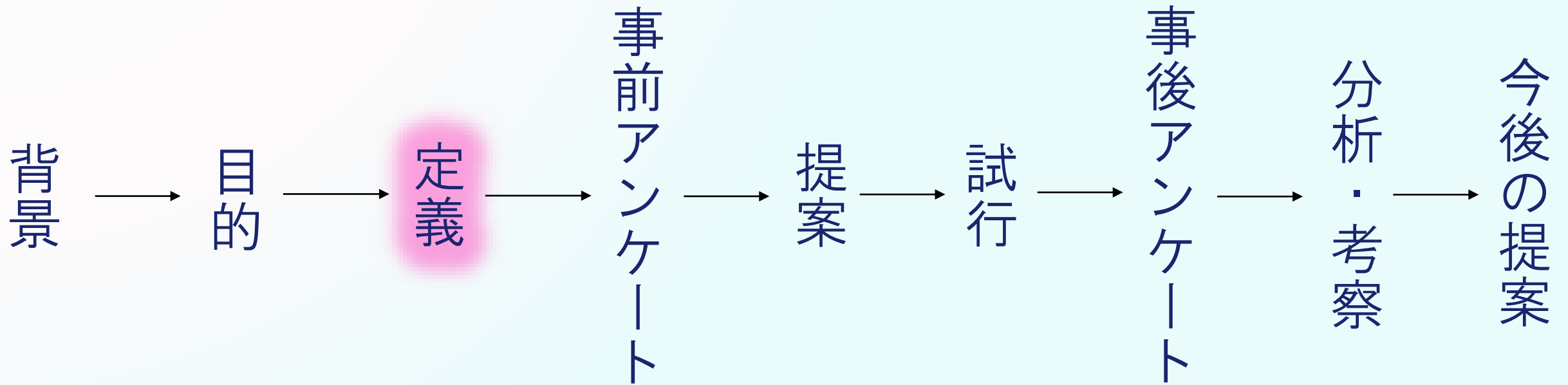
人生の財産

(安心感・防犯)

(思い出・友達・社交性)



発表の流れ





用語の定義



面識がある 顔と名前が一致している状態
会話等の有無によらない

近隣居住者 宿舎内の同一フロアかつ周囲

宿舎棟内 各宿舎の居住棟の中

└─ **共用スペース** 宿舎棟内の共用部分

└─ **交流スペース** 共用スペースのうち
日常生活で必ず使用する部分を除いたもの
ex)補食室、談話室、キッチン

└─ **宿舎外交流スペース** 共用棟を指す





コミュニケーションの定義～検討～



中間発表後…

現代の大学生は何を求めて
コミュニケーションをとるのか

を考えた！！

現代のSNSの利用の仕方
コミュニケーションの意義

などを検討



コミュニケーションの定義～SNS～



映画を見たとき…



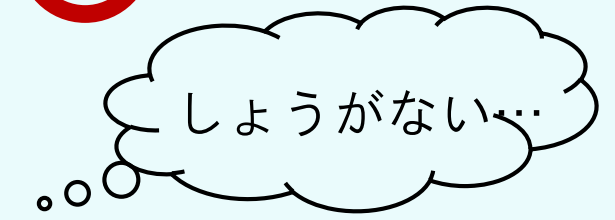
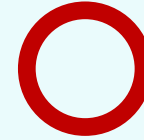
友達と鑑賞するとき

その場で友達と話せる ○

1人で鑑賞するとき

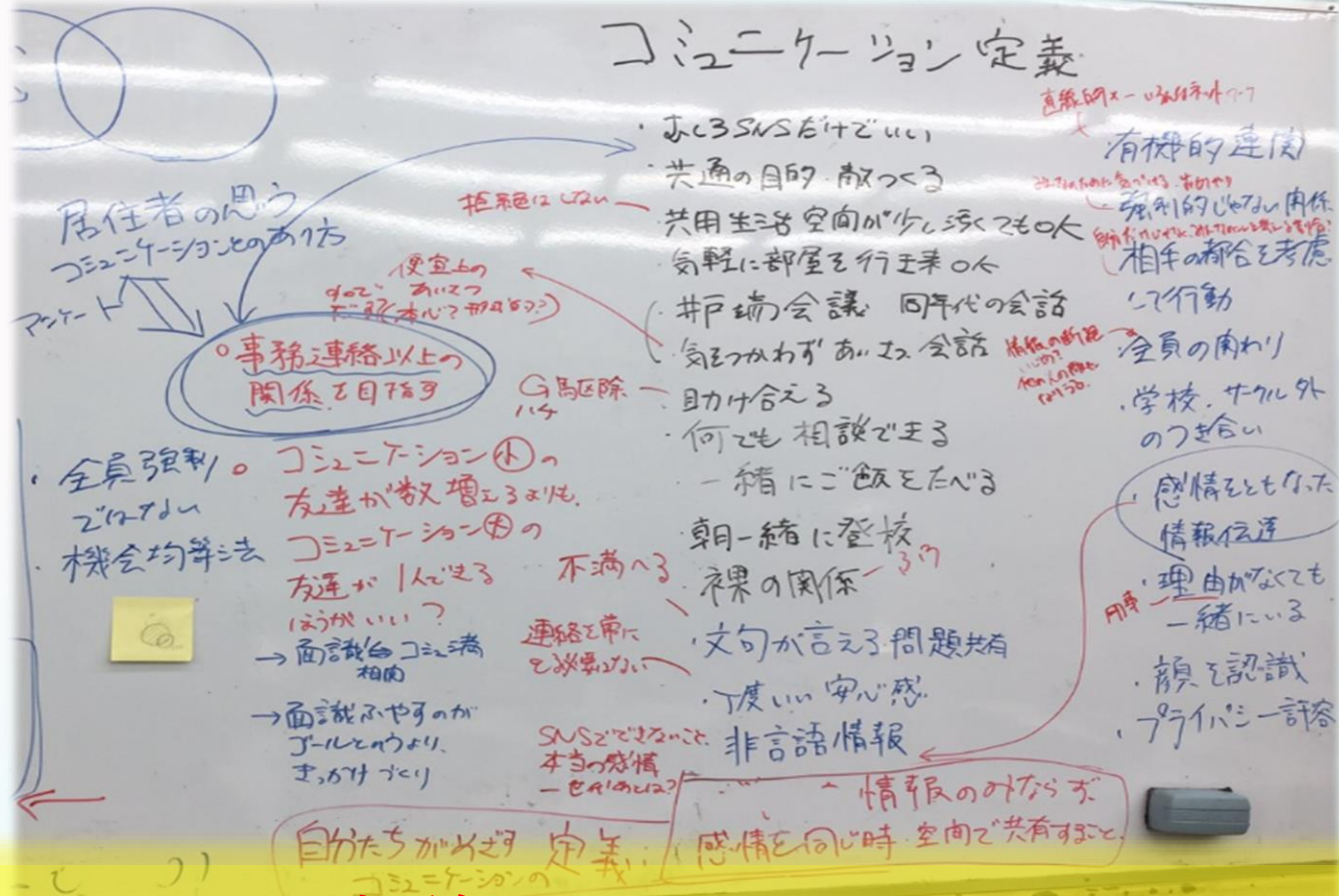
その場で話せない ×

⇒TwitterなどのSNSで他の人と共有 ○



SNSは直接話せないときの代わりとなるツール
→ SNSのコミュニケーションだけでは足りない！

コミュニケーションの定義



コミュニケーションの定義：

情報のみならず、感情を同じ時かつ同じ空間で共有すること



コミュニケーションの定義～モデル図～



感情 ↑ 強

私たちが

コミュニケーションの定義を
裏付けるための分析を実施

対面で感情を共有できる
でも、濃すぎない関係

きっかけを提供する
そこから先は各自で選択


弱



定義の裏付け分析～分類～



アンケートから人間関係を8つに分類

- 対面濃い
- 
- ① 特に理由がなくても集まれる関係
 - ② 一緒に食事ができる関係
 - ③ 同じ授業を一緒に受ける関係
 - ④ 外出先で会った時に雑談ができる関係
 - ⑤ 規則などが理由で顔を合わせる関係
 - ⑥ 挨拶のみ（会話なし）の関係
 - ⑦ SNSを用いた雑談による関係
 - ⑧ SNSによる事務連絡の関係



定義の裏付け分析～乖離度～



乖離度

= {理想の度合い (1～6段階) - 現在の度合い (1～6段階) }

	乖離度 小	乖離度 大
乖離度	0～2	3～5
特徴	現実と理想の差が小さい	現実と理想の差が大きい
	理想的な人間関係の人々	我々が改善したい人間関係の人々

8種類の間人間関係について

※乖離度-5～-1
の人は対象外

① 重回帰分析

② t検定



定義の裏付け分析～重回帰分析～



1. 重回帰分析

「**乖離度** = (理想の度合い) - (現在の度合い)」を目的変数

「各人間関係の度合いの回答値」を説明変数 (5%有意なもののみ)

目的変数	説明変数 (作用する人間関係)	回帰係数
乖離が小さい うち 61人	④外出先で雑談できる	0.28**
乖離が大きい うち 20人	⑥挨拶のみ (会話なし)	0.26**
	⑧SNSによる事務連絡	0.19*
コミュニケーション満足度を上げる 全101人	①理由がなくても集まれる	0.36**

※ ** : $p < 0.05$ * : $p < 0.10$



定義の裏付け分析～ t 検定～

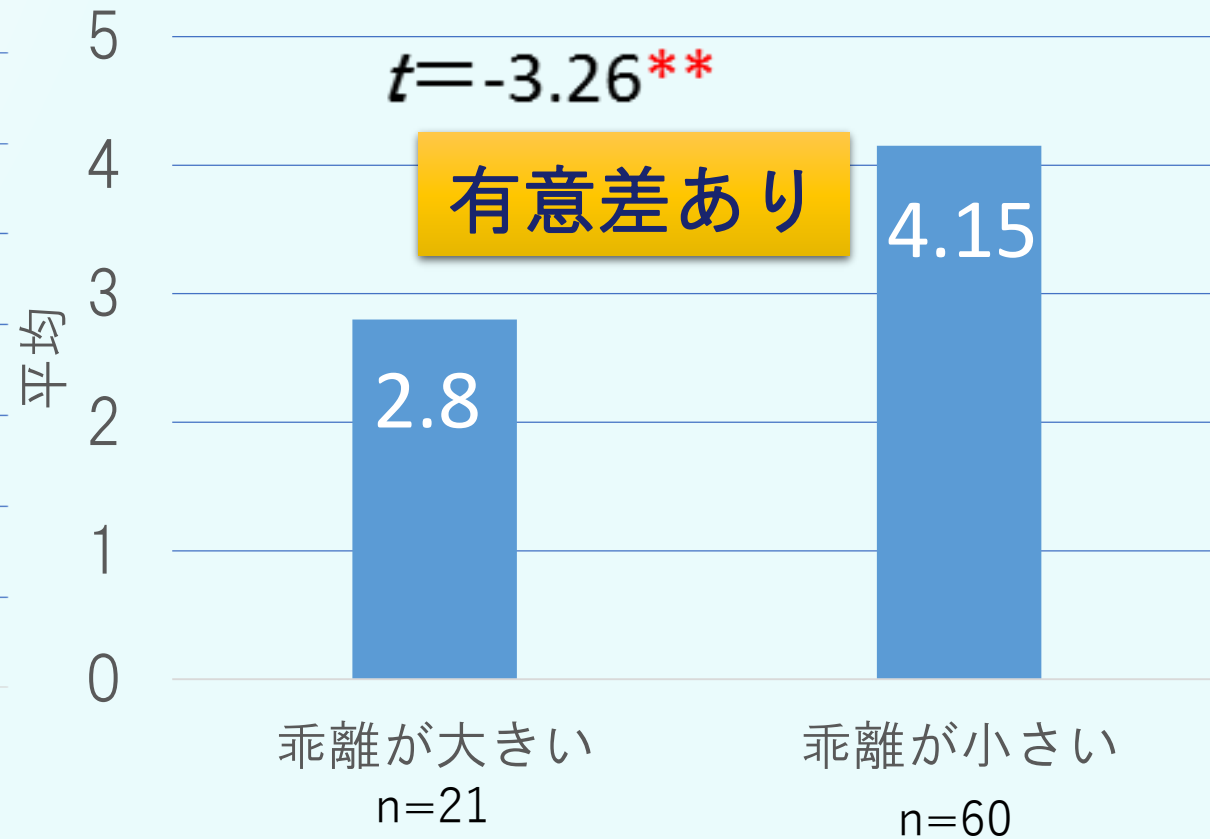


2. t 検定

①理由がなくても集まれる



④外出先で雑談





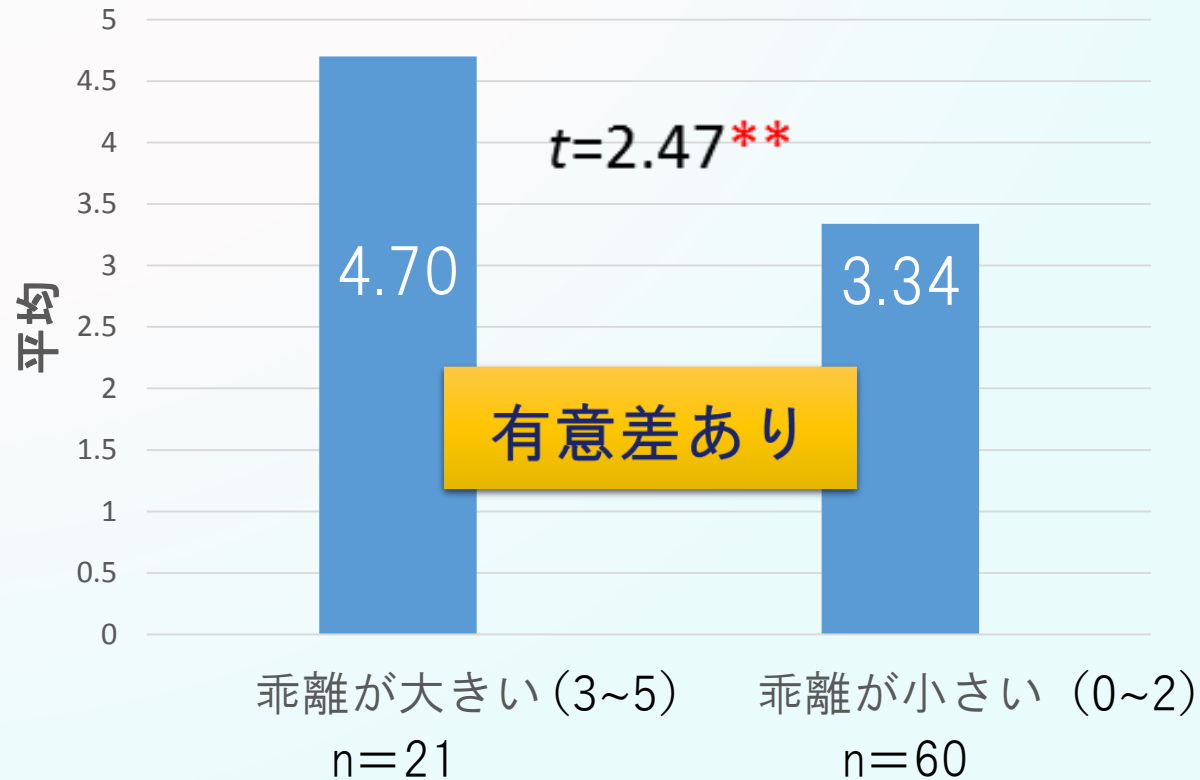
定義の裏付け分析～ t 検定～



② t 検定 乖離が大きい人の関係

⑥ 挨拶のみ（会話なし）

⑧ SNSによる事務連絡



→有意な差は見られなかった。



定義の裏付け分析～まとめ～



コミュニケーション度合い

得られる効果

①特に理由がなくても集まれる関係

乖離 減

満足 高

④外出先で会った時に雑談ができる関係

乖離 減

⑥挨拶のみ（会話なし）の関係

乖離 増

⑧SNSによる事務連絡の関係

乖離 増

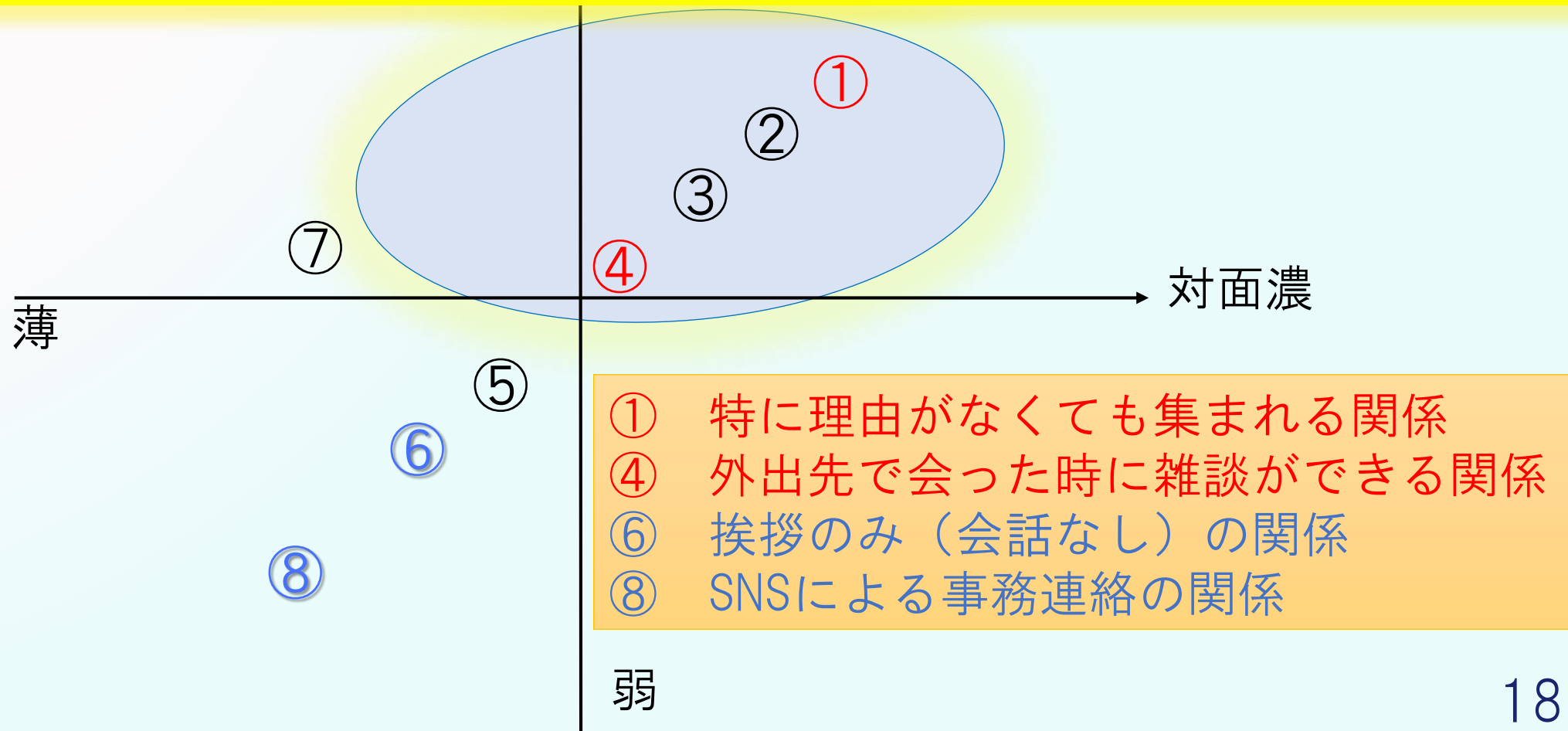


定義の裏付け分析～結果～



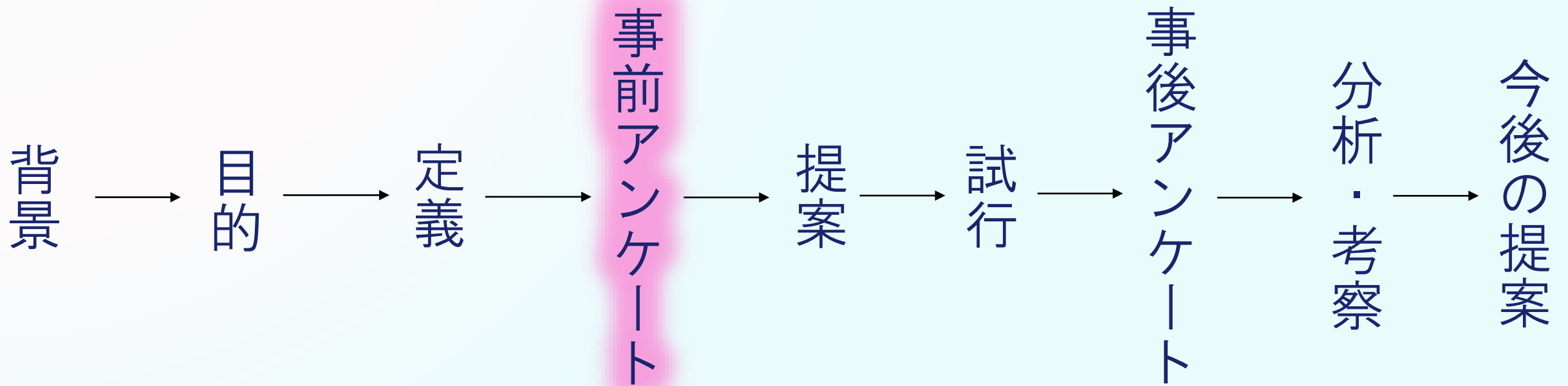
コミュニケーションの定義：

情報のみならず、感情を同じ時かつ同じ空間で共有すること





発表の流れ





事前アンケート



Google フォームによるアンケート

質問 回答 101

10 セクション中 1 個目のセクション

筑波大学学生宿舎のコミュニケーションに関する調査

アンケートにご協力いただきありがとうございます。
社会工学類都市計画専攻 3 年次の都市計画に関する実習の一環として、宿舎生を対象にした調査を行っております。
以下の質問に回答の上、フォームを送信してください。なお、ご回答いただいた内容は全て統計処理がなされ、個人が特

セクション 1 以降 次のセクションに進む

10 セクション中 2 個目のセクション

セクションタイトル (省略可)

説明 (省略可)

学群・学類 (例 ○○群・○○類) *

対象:筑波大の宿舎生101人に実施

期間: 2017年5月31日～6月4日

～主な質問内容～

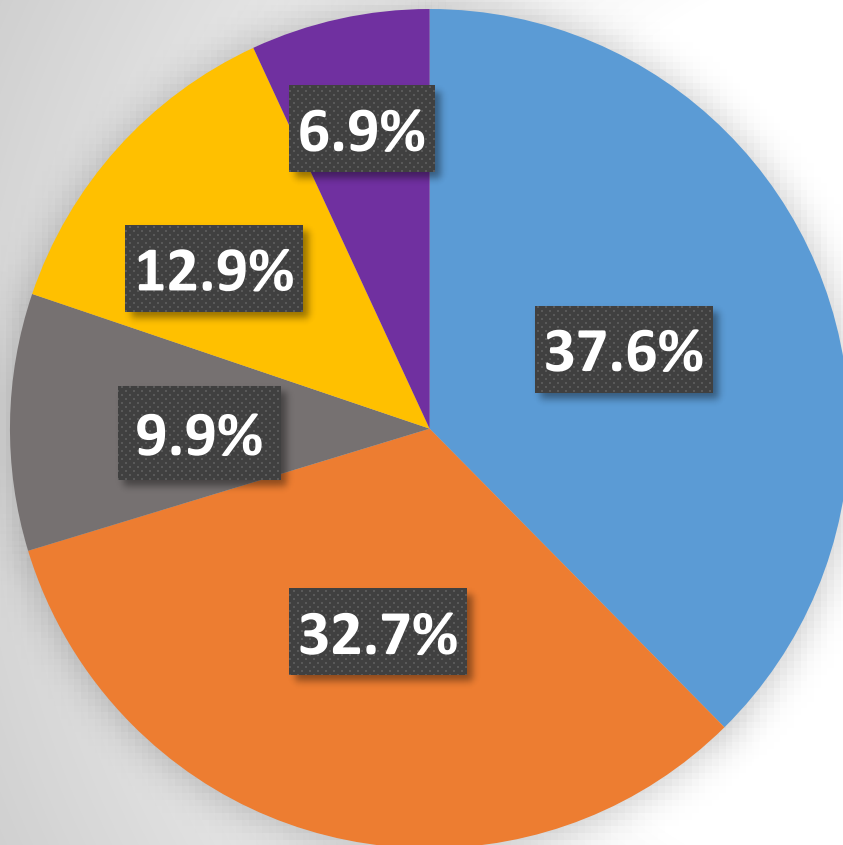
- ・ 現在のコミュニケーションの現状
- ・ 宿舎での望ましいコミュニケーション
- ・ 宿舎内外の交流スペースについて



事前アンケート



調査対象者の入居している宿舎 n=101



- 一の矢改修棟
- 平砂改修棟
- 追越改修棟
- 春日宿舎
- グローバルヴィレッジ

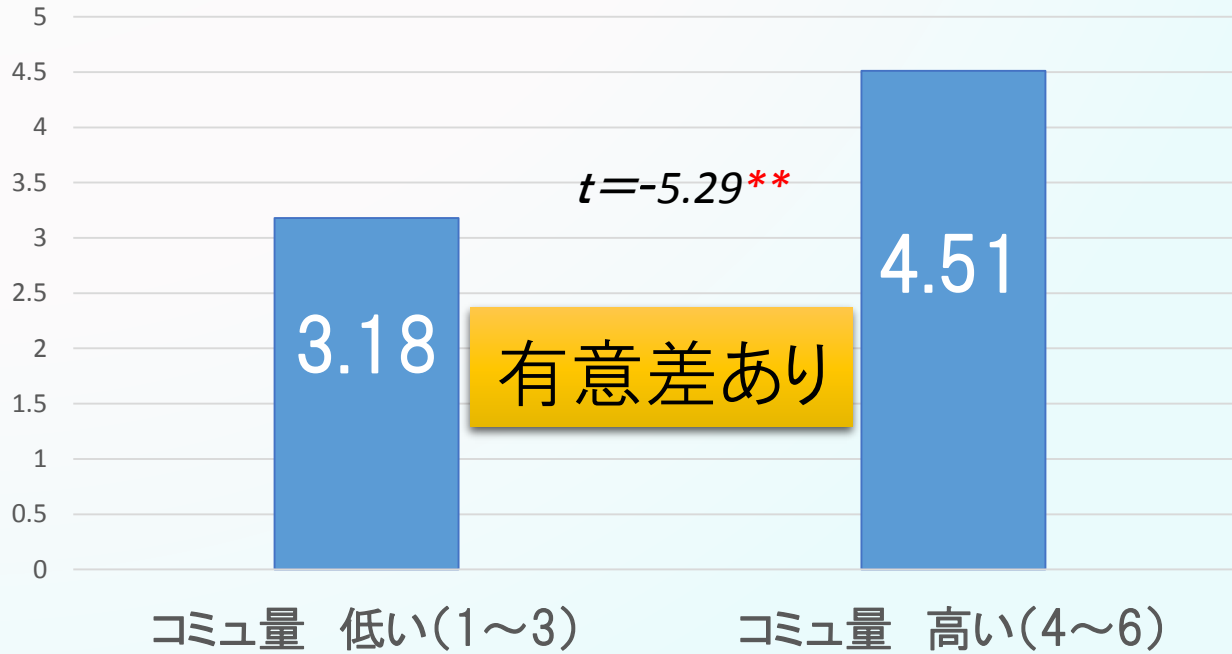


宿舎におけるコミュニケーションの「量と質」

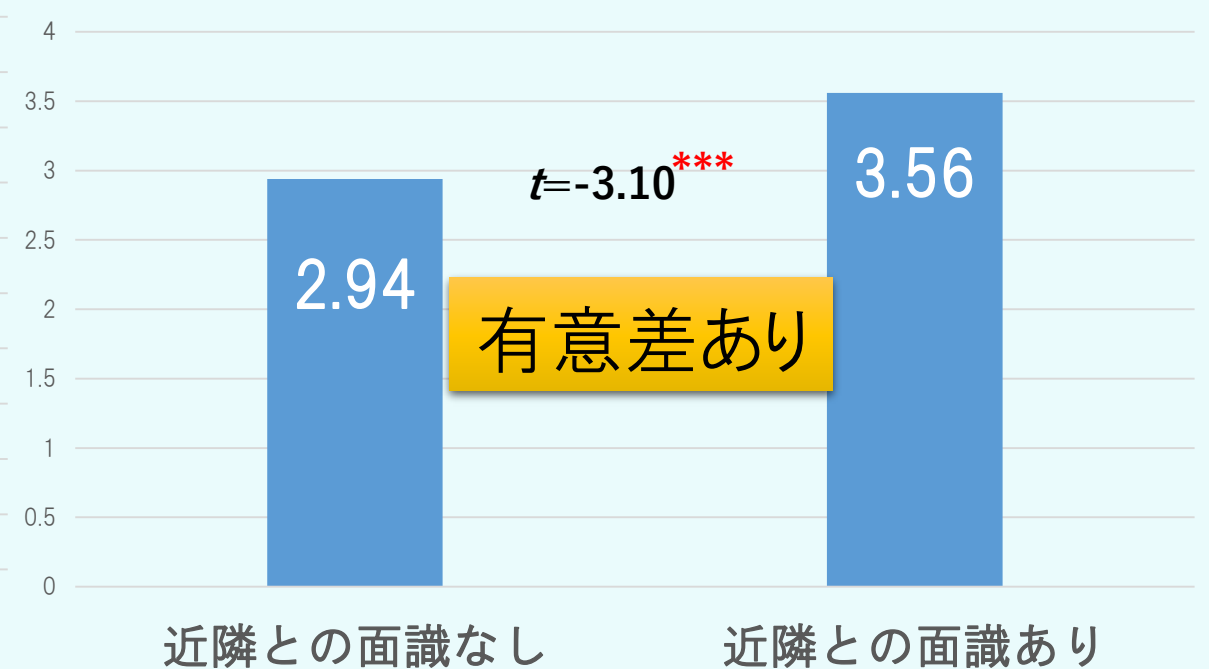
コミュニケーション量を6段階で質問

宿舎内の面識関係について質問

t検定 コミュニケーション満足度 n=101



t検定 コミュニケーション満足度 n=96



→現時点で、宿舎のコミュニケーションを増やす根拠

※*** : p<0.01 ** : p<0.05



コミュニケーション形成モデル



現在

交流スペース
不満足

コミュニケーション

快適な生活
(防犯、安心感)

+

人生の財産
(思い出、友達、社交性)

直接アプローチ

改善

交流スペース
満足

コミュニケーション

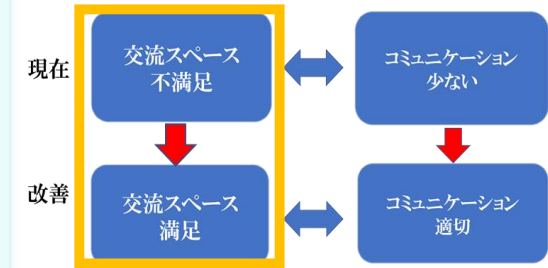
間接アプローチ



事前アンケート～交流スペース満足度とコミュ満足度～



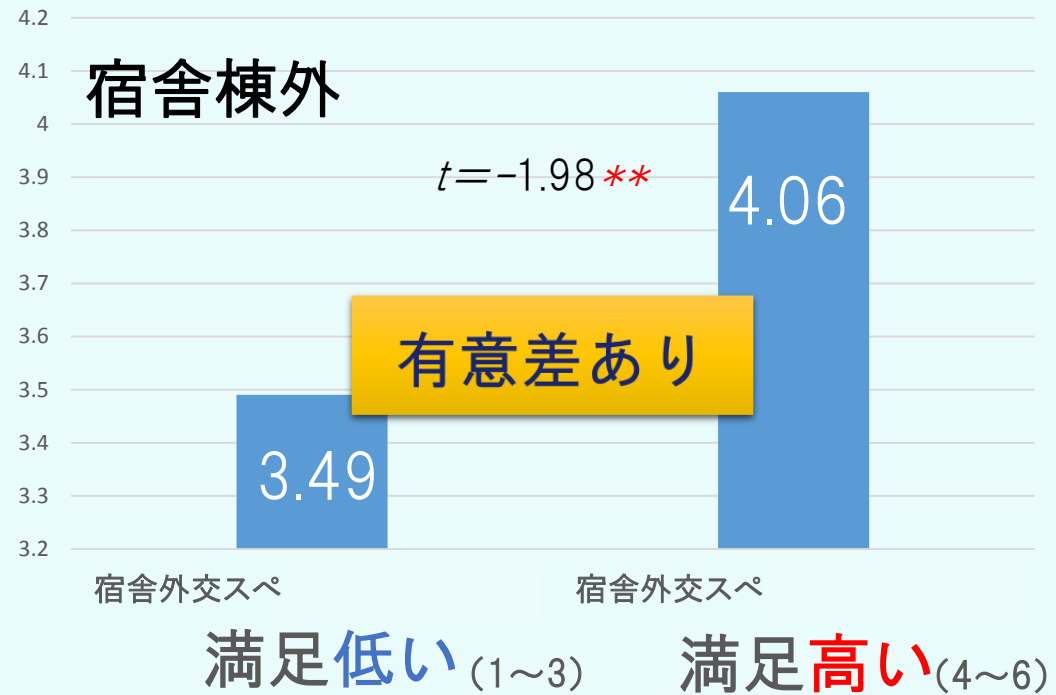
宿舎交流スペースの「満足度」における コミュニケーションの満足度の差



(1~3)
t検定 コミュニケーション満足度 n=101



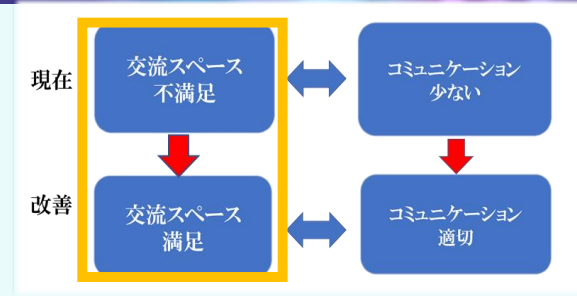
t検定 コミュニケーション満足度 n=101



※*** : p < 0.01 ** : p < 0.05

事前アンケート～交流スペース使用頻度とコミュニケーション満足度～

宿舎交流スペースの「使用頻度」における コミュニケーションの満足度の差



t 検定 コミュニケーション満足度 n=101

t 検定 コミュニケーション満足度 n=101

完全補内

完全補外

宿舎内・外交流スペースの 「満足度・使用頻度」を上げる施策を検討

2.8

宿舎内交スペ使用頻度

満足低い (1~3)

宿舎内交スペ使用頻度

満足高い (4~6)

3.3

宿舎外交スペ使用頻度

満足低い (1~3)

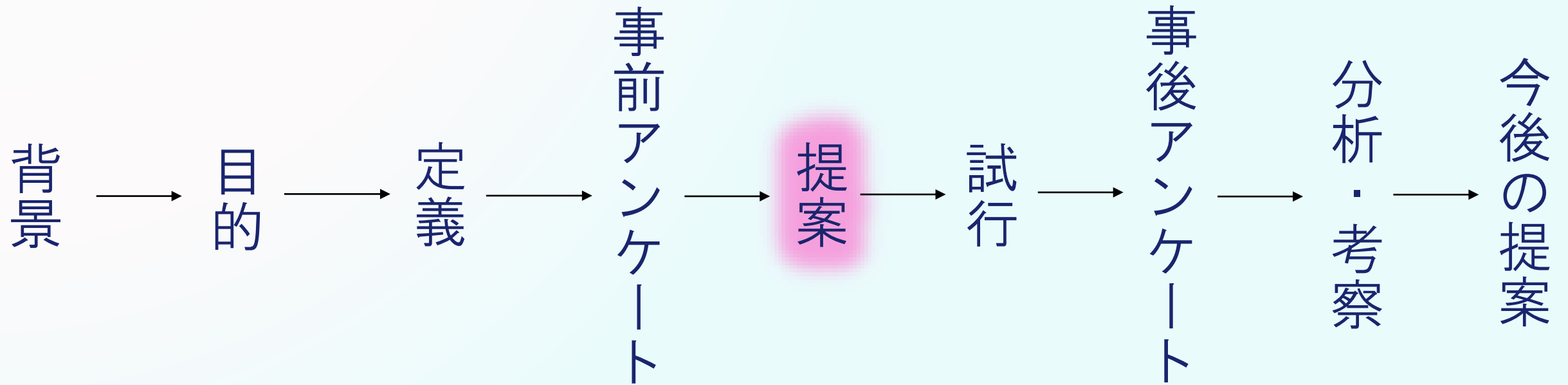
宿舎外交スペ使用頻度

満足高い (4~6)

※** : p < 0.05



発表の流れ





ヒアリング



日時：2017年5月24日(水)14時

対象：学生生活課
大手さん 細沼さん



目的：提案内容に対する生活課の意見を得る
提案内容は実施可能か、内容の精査



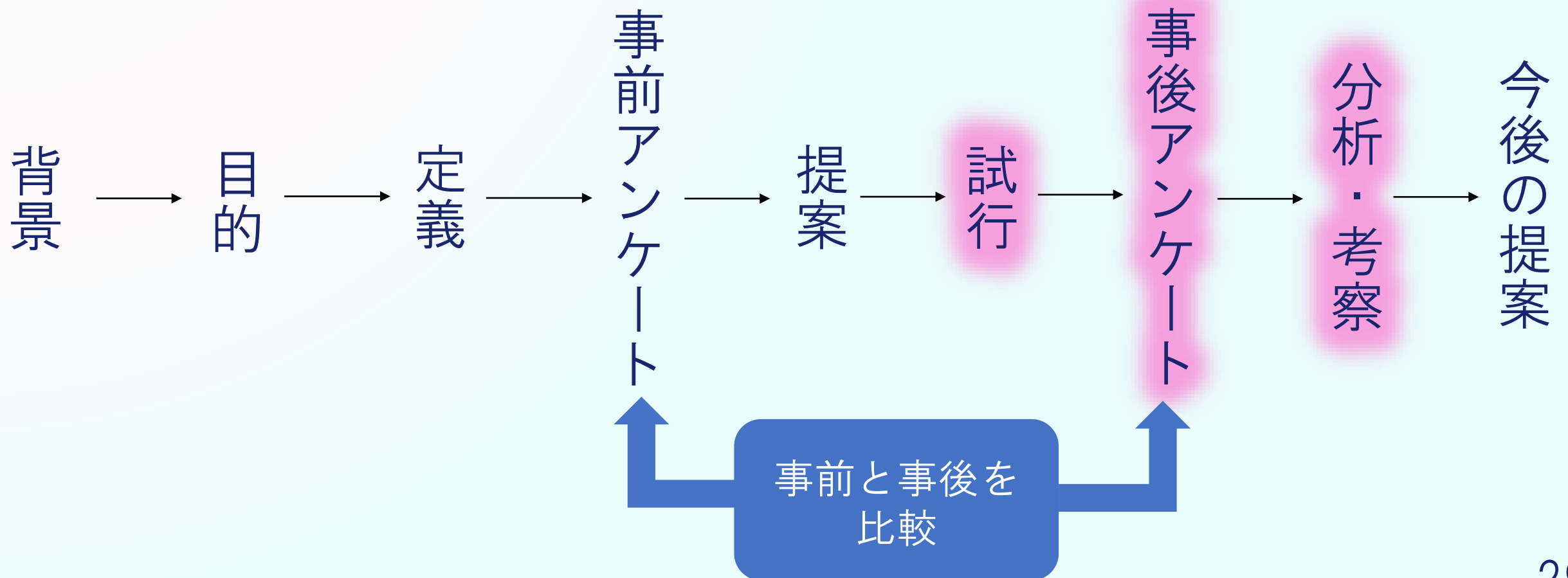
ヒアリングによる提案の検討



要素	提案	効果予測	実習中の実施可能性
面識	①パブリックビューイング	○	○
場の雰囲気	②掲示板	△	△
新しい出会いの場	③自己紹介ボード	△	△
利便性	④宿舎新歓	○	△
景観	⑤未改修棟の塗装計画	△	×
資金・財源	⑥宿舎集金	△	×
	⑦宿舎公式LINEの作成	○	△
			○



発表の流れ





試行①パブリックビューイング



目的：宿舎の交流スペースの活用によって
コミュニケーションは向上するのか検証するため



宿舎で！
パブリックビューイング
麒麟チャレンジカップ2017
日時：平成29年6月7日(水) 19:00～

シリア VS 日本

場所 ・コミュニティステーション(グローバルビレッジ)
・一の矢共用棟

社会工学類都市計画実習2班 主催 代表：徳田伊織 Mail:lifestyle2017.sk@gmail.com

日時：2017年6月7日(水)
19:00～

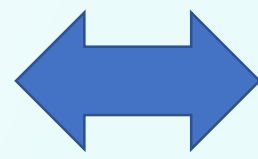
実施場所：

- ・コミュニティステーション
(グローバルビレッジ)
- ・一の矢共用棟

試行①パブリックビューイング～アプローチ～

現在

交流スペース
不満足

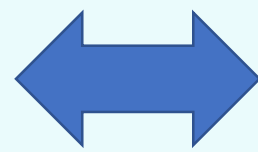


コミュニケーション
少ない

直接アプローチ

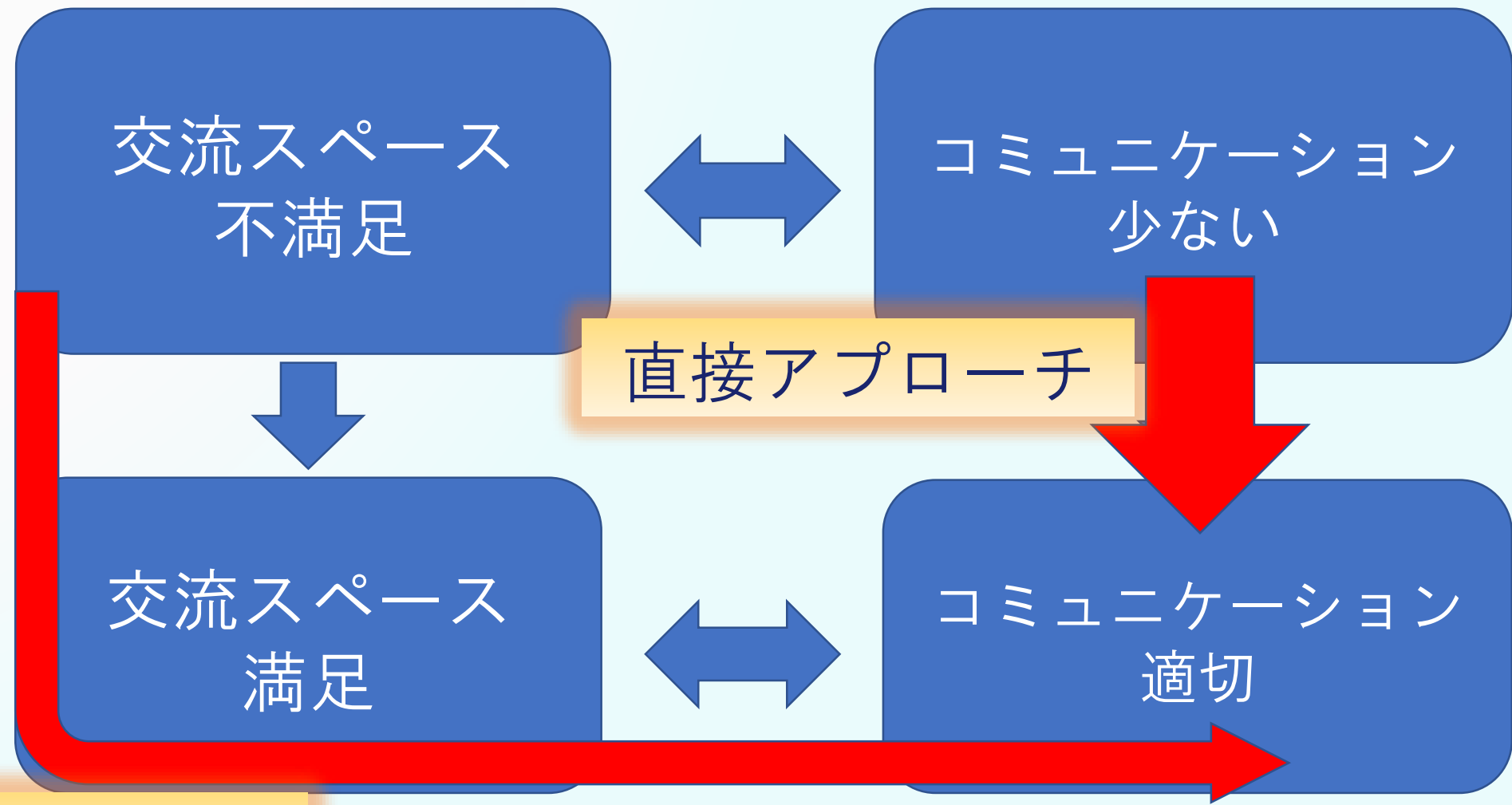
改善

交流スペース
満足



コミュニケーション
適切

間接アプローチ





試行①パブリックビューイング～実施結果～



実施結果



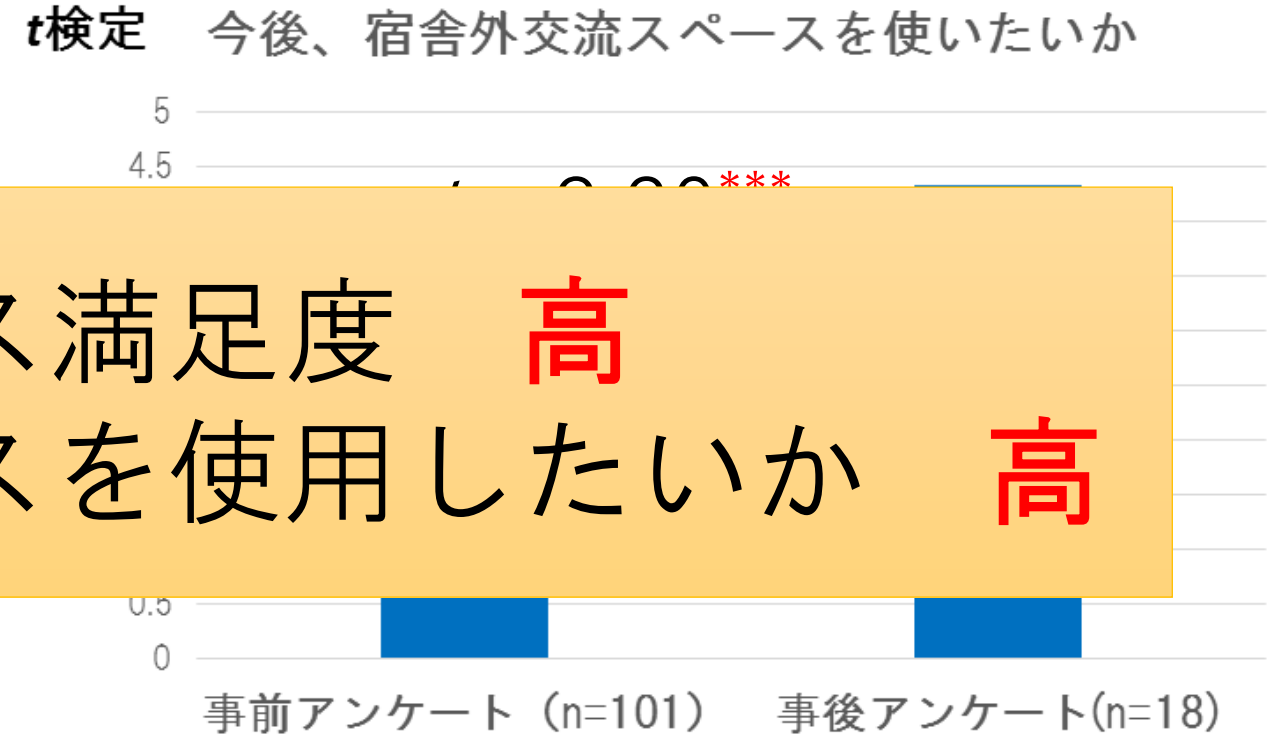
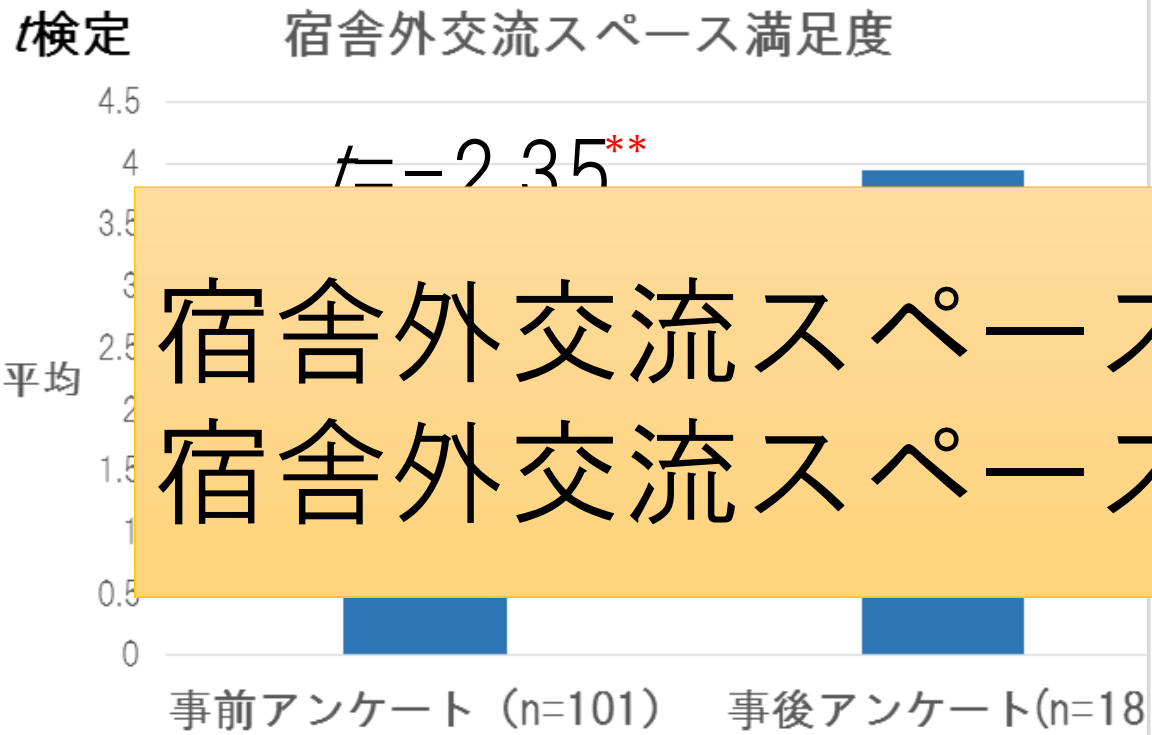
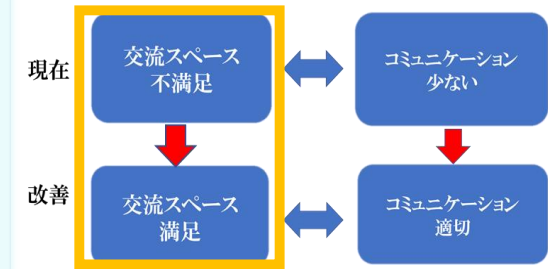
	一の矢共用棟	コミュニティステーション (グローバルヴィレッジ)
来場者数	10人	33人
アンケート回答数	10人	18人

試行①パブリックビューイング～実施の様子～





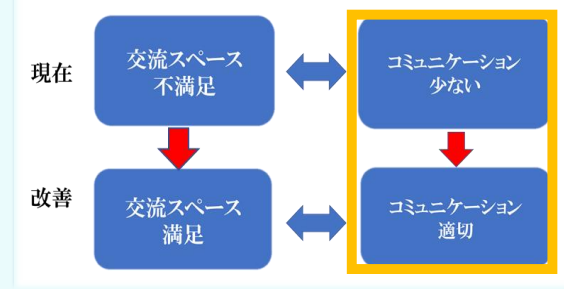
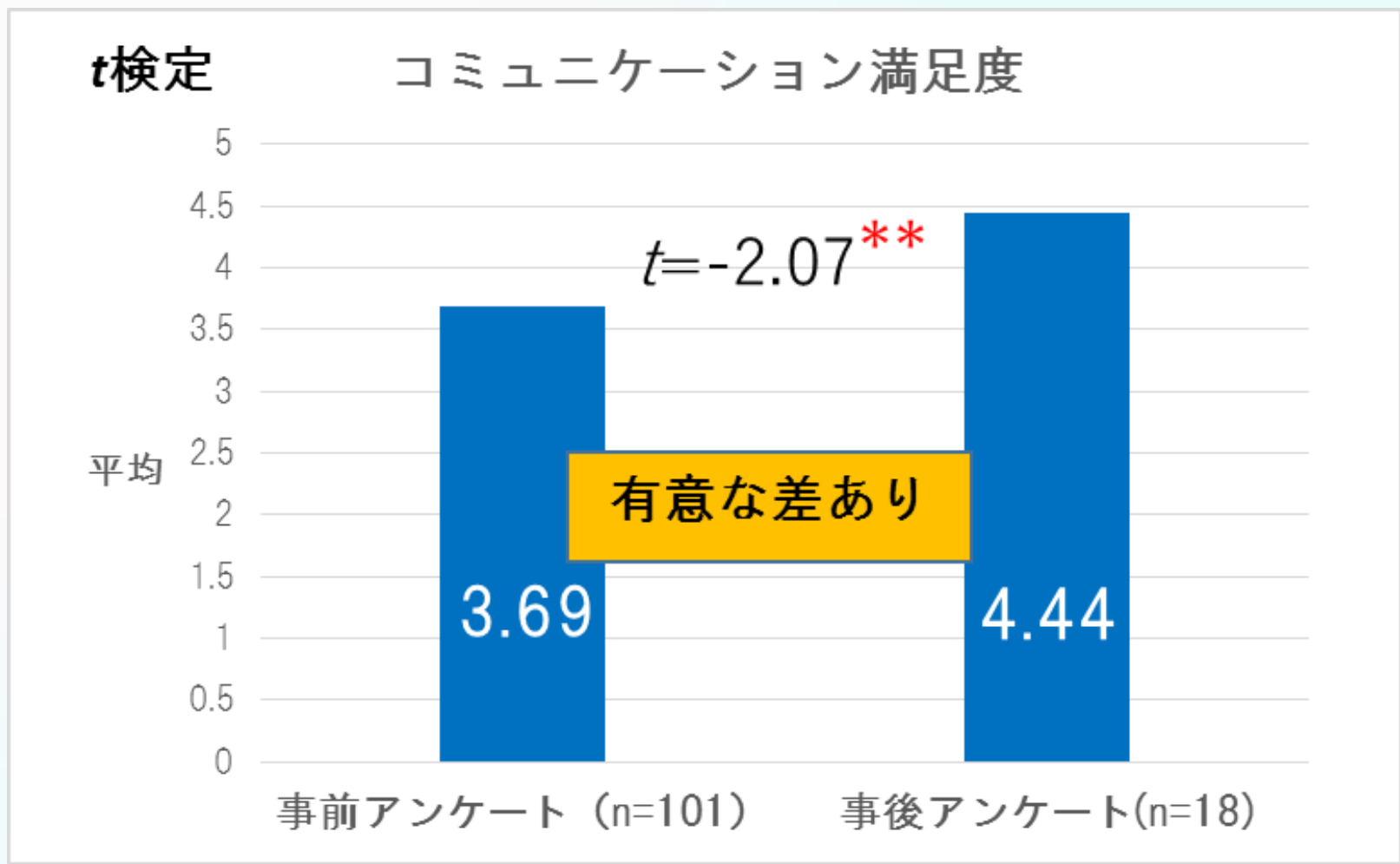
試行①パブリックビューイング～アンケート分析～



宿舎外交流スペース満足度 **高**

宿舎外交流スペースを使用したいか **高**

試行①パブリックビューイング～アンケート分析～



※** : $p < 0.05$

→ コミュニケーション満足度がもともと高い人が参加した？



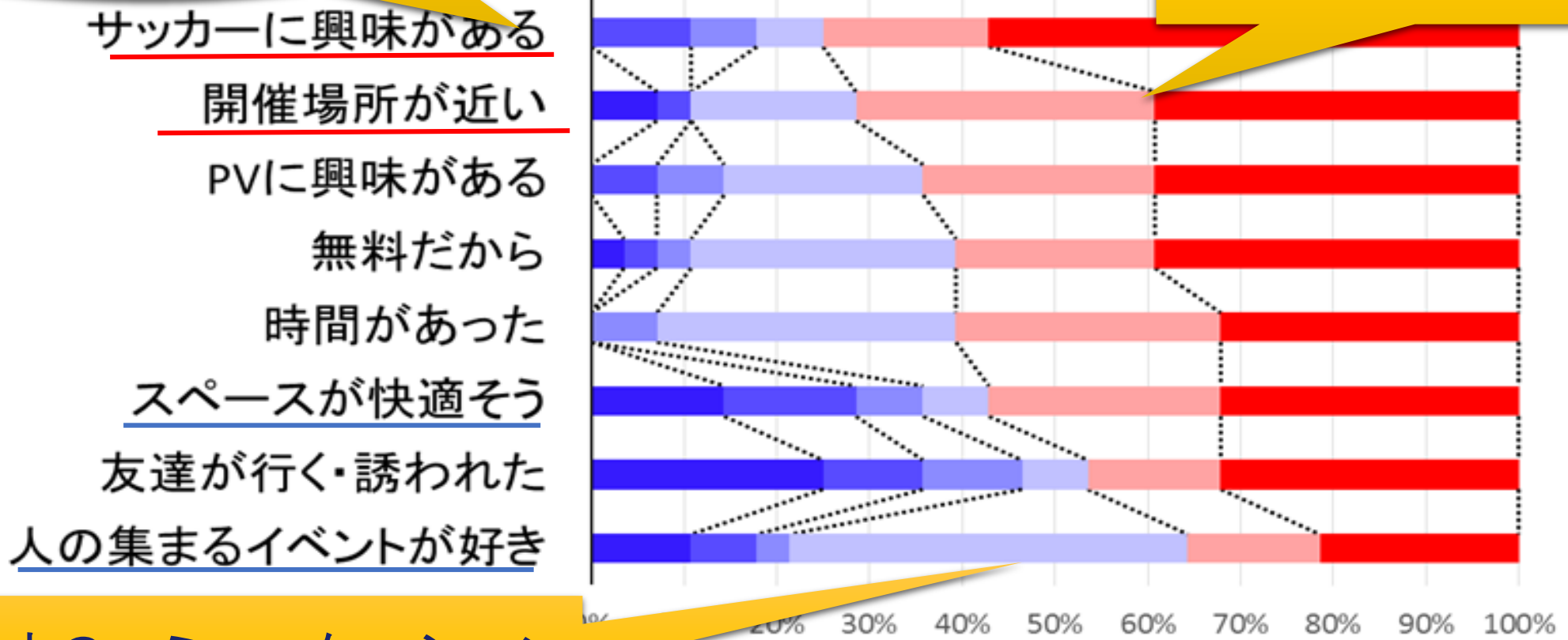
試行①パブリックビューイング～参加理由～



興味があることが最大の要因！

参加理由 n=28

宿舎でやることが重要



集まった人のコミュニケーション積極度に偏りはあまりない

不満足 (1)

非常に満足 (6)

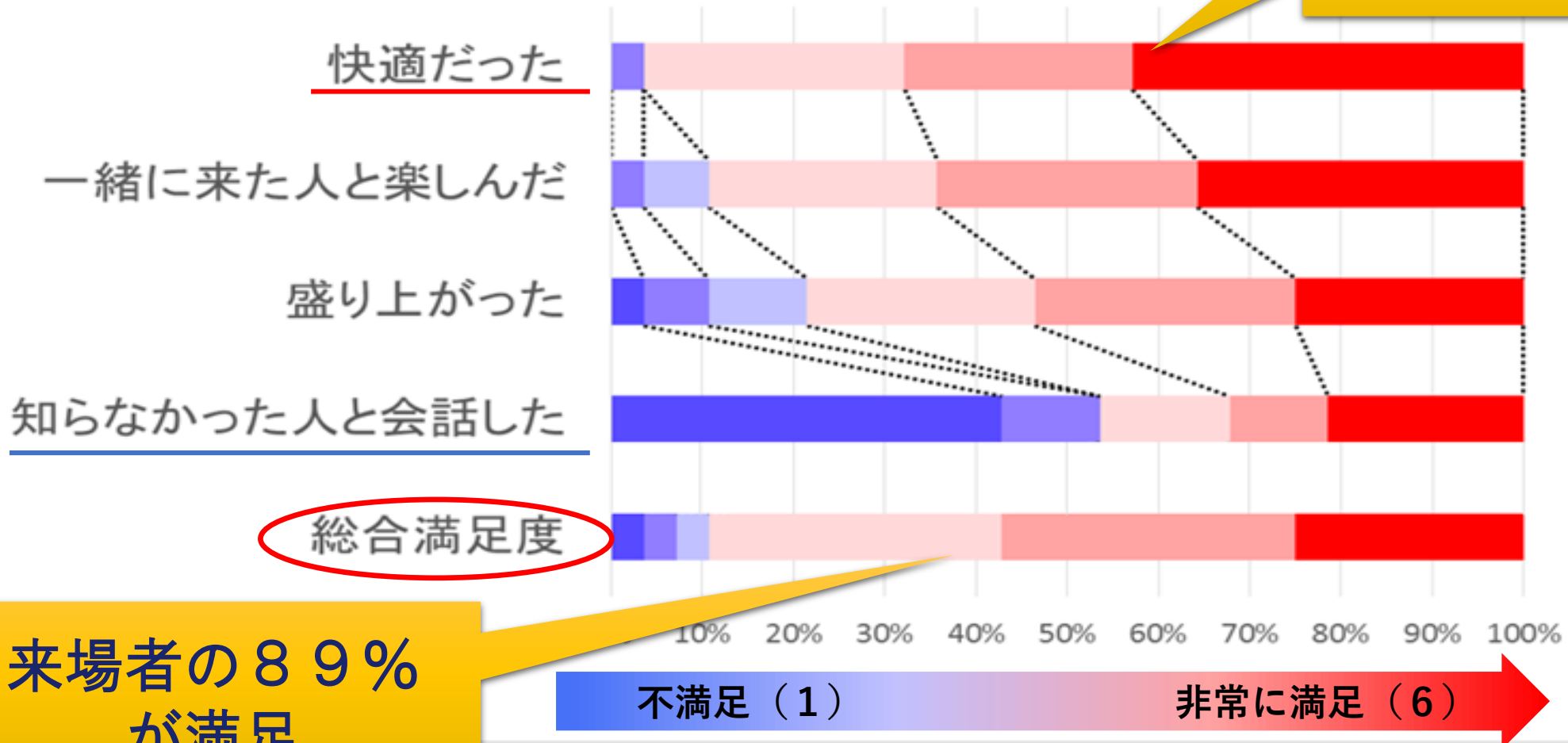


試行①パブリックビューイング～満足感～



満足感について n=28

交流スペースの
快適性が高い





試行②連絡掲示板

連絡コーナー

☆今日捕食室で鍋パーティー
しましょう！！ (203 くわばら)

コンロ使ったらきれいにしてください(;▽;)

煮物作り過ぎました(汗)
よければあげます～ 205中野

自己紹介!

宿舎棟内の「交流スペース」に設置

①「近隣居住者」との面識 UP!

②「交流スペース」使用頻度 UP! 使用満足 UP!

入居者アンケート
交響曲第9番 未短編 作品95「新世界より」
© 2014 Kosei Shoin, Inc. All rights reserved.

入居者アンケート
交響曲第9番 未短編 作品95「新世界より」
© 2014 Kosei Shoin, Inc. All rights reserved.



試行②連絡掲示板～実施内容～

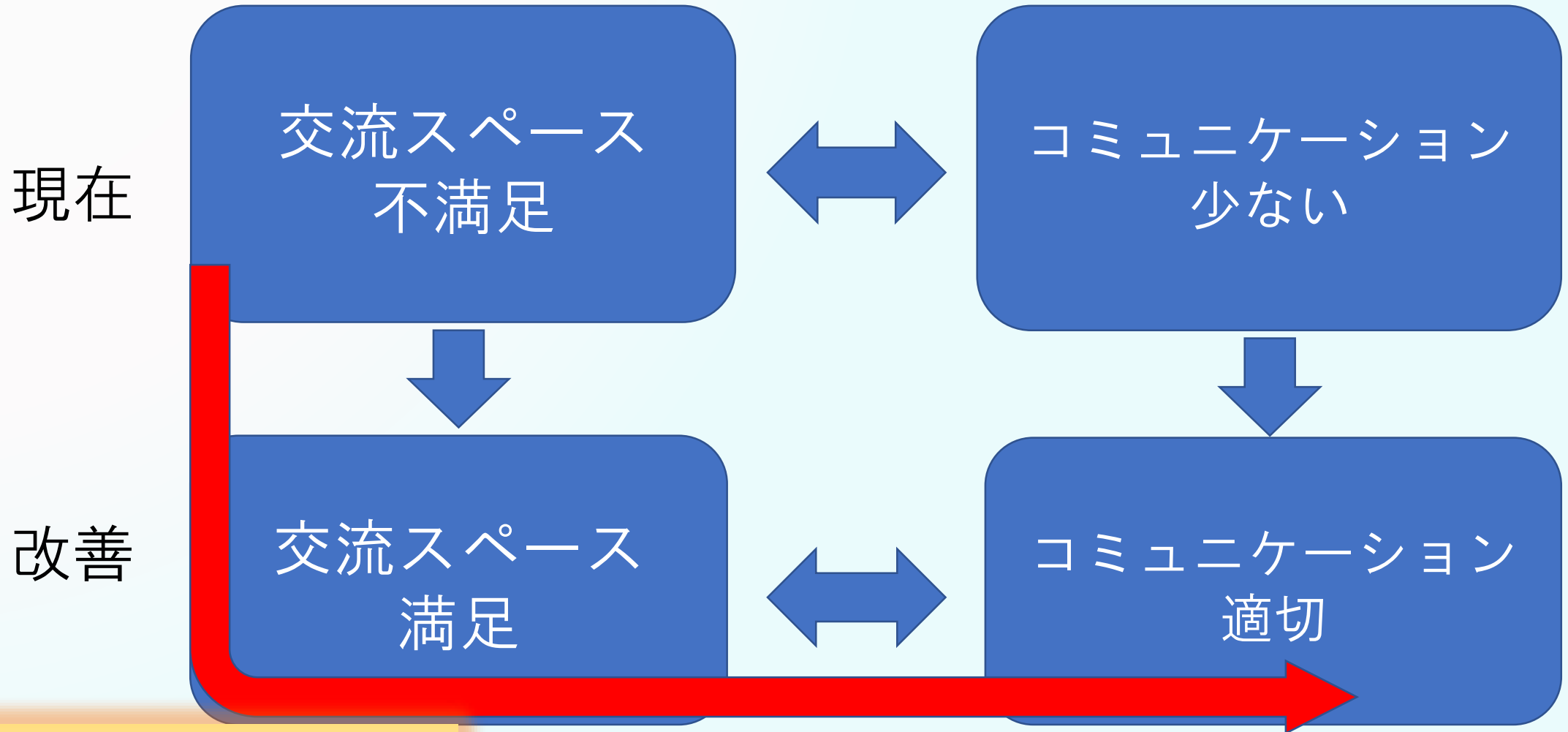


実施内容

	一の矢1A棟(男子)	一の矢3A棟(女子)
居住者数	35人	35人
実施期間	2017年6月6日(火)～6月22日(木) [17日間] 現在も設置中	



試行②連絡掲示板～アプローチ～



間接アプローチ



試行②連絡掲示板～経過の様子～



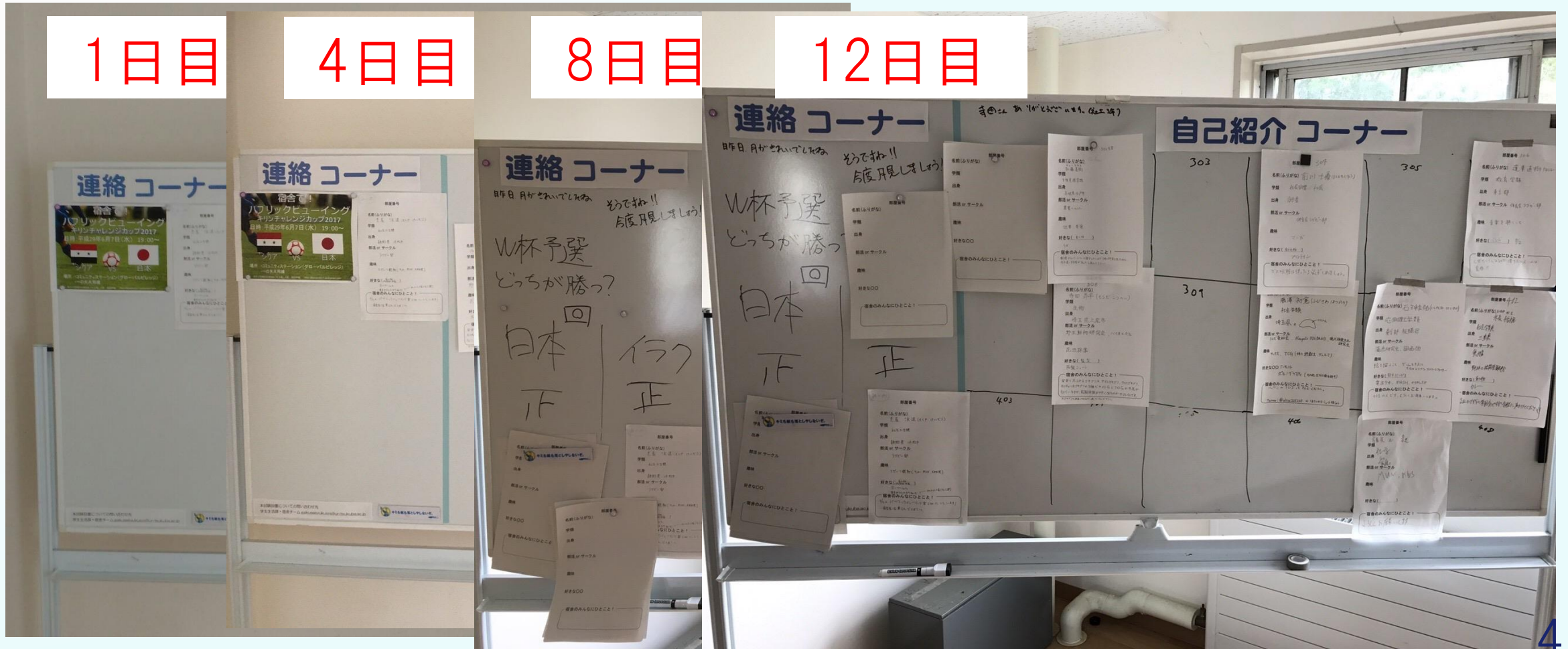
男子棟

1日目

4日目

8日目

12日目



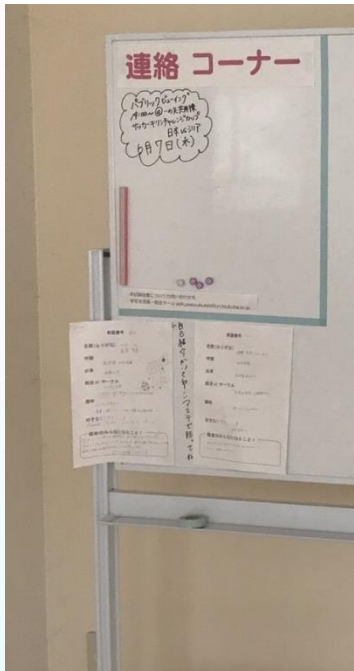


試行②連絡掲示板～経過の様子～

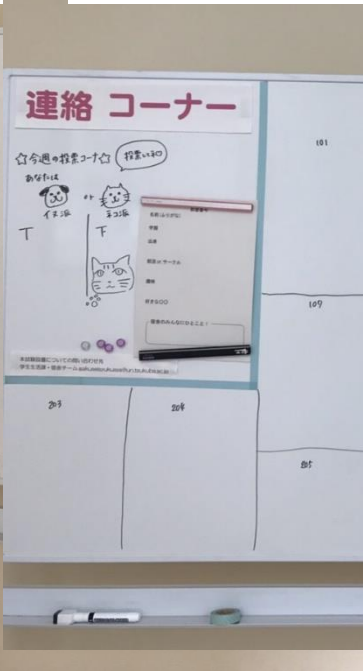


女子棟

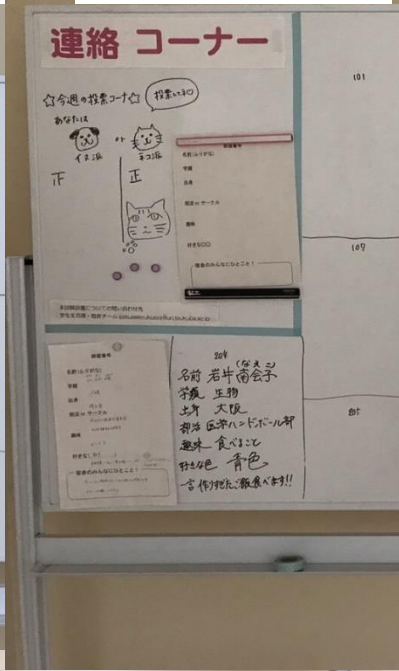
4日目



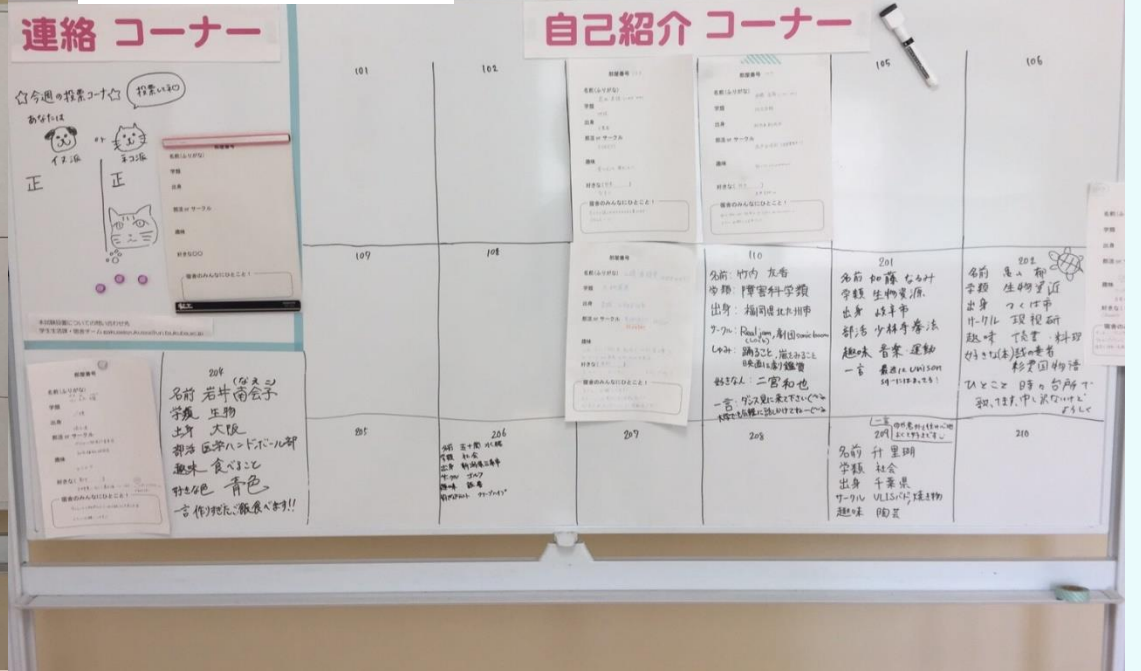
6日目



8日目



12日目

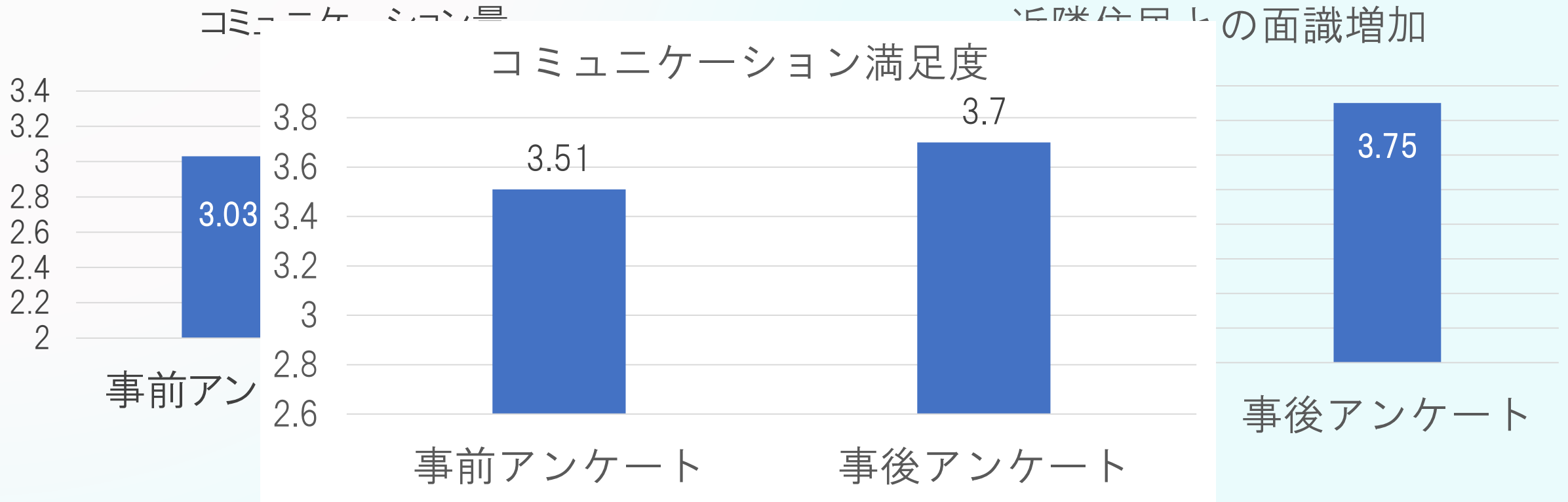




試行②連絡掲示板～アンケート分析～



統計的に有意ではないが…平均値で比較



※事前アンケートn=38 事後アンケートn=27

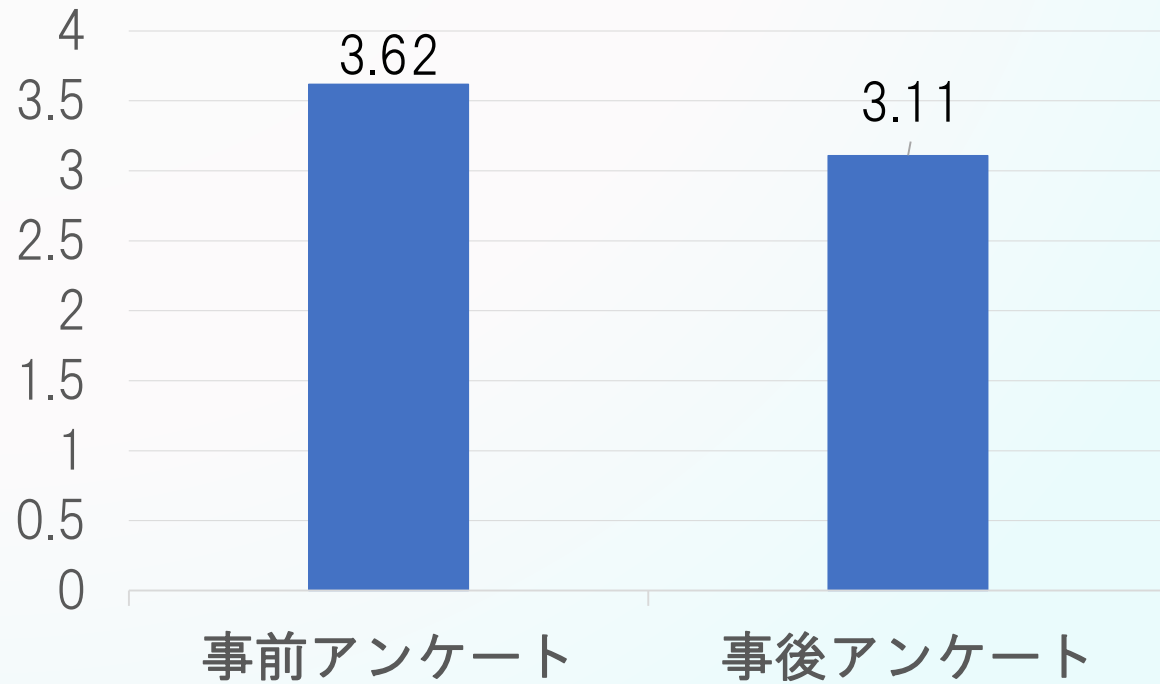
→ わずかに増



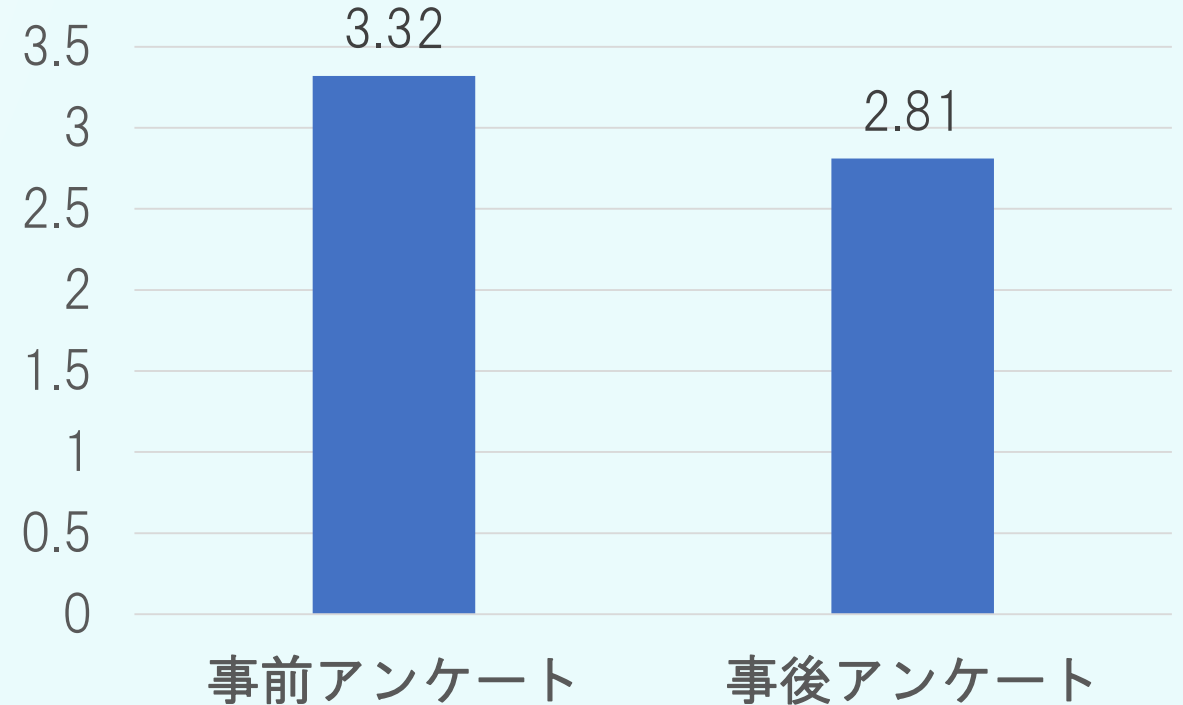
試行②連絡掲示板～アンケート分析～



交流スペース満足度



交流スペース使用頻度



※事前アンケートn=38 事後アンケートn=27

→ 期待される結果が得られなかった？



試行②連絡掲示板～考察～



実験対象棟の特徴

- ①特に理由もなく集まれる関係
 - ④外出先で雑談ができる関係
- } 対面コミュが高い
人間関係

望む回答値が有意に低い

可能性として…

- ・特にコミュニケーションが望まれていない棟である
- ・短期的な効果が発現しなかった

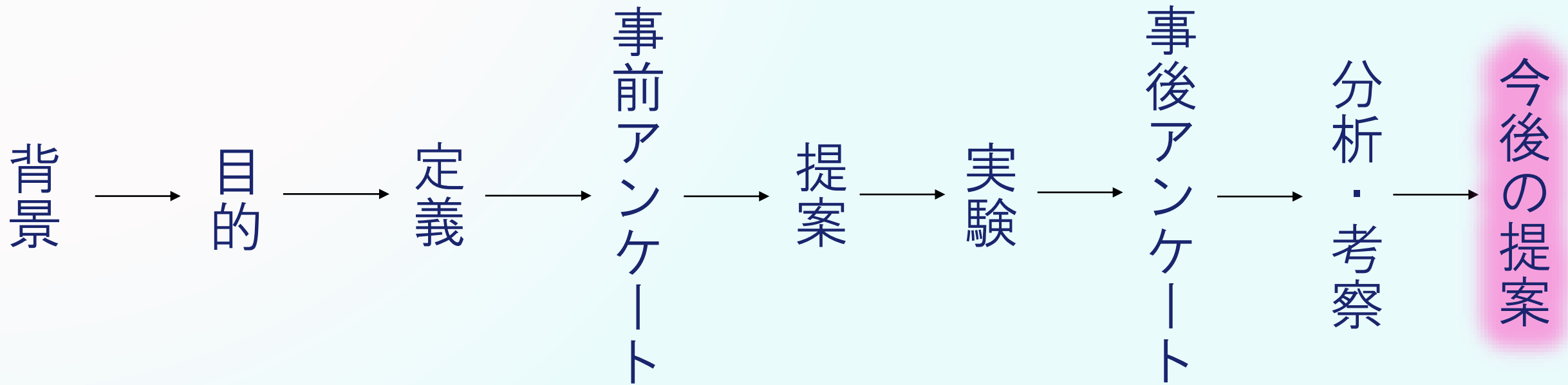


なぜ、結果が得られなかった？

- ・ 実験を行った時期が遅い可能性
- ・ 参加数の少なさ
- ・ 実施期間の短さ
- ・ 施策(連絡コーナー・自己紹介カード)の適切性



発表の流れ





今後の提案～宿舎棟外～



①共用棟

パブリックビューイングの成功

→積極度低い人でもコミュニケーションの増加ができる!

- ・ 宿舎に近い立地
- ・ 居住者の興味のあることを気軽に楽しめる環境
- ・ 利用に人手があまり必要ない提案

例) ・ プロジェクターの常設 ※カギで管理
(パブリックビューイング、映画鑑賞会を任意で)
・ 卓球台の設置 など



今後の提案～宿舎棟内～



②宿舎各棟

連絡掲示板

- 連絡コーナー → 交流スペースの使用頻度を増やす目的
- 自己紹介カード → 近隣の住民との面識人数を増やす目的

- ・ 新入生の入居時に自己紹介カードを渡す
- ・ 最初の集まりで棟ごとに集まってもらって自己紹介
- ・ 掲示板内容の改善



実習のまとめ～背景・目的～



背景：宿舎居住者のコミュニケーションが不十分？

根拠：

「願望と現状の乖離」の是正

「コミュニケーション満足度」の向上 が可能

～目的～

- ・ コミュニケーションをとりたい人にきっかけを与える
- ・ 宿舎でのコミュニケーションを満足させる



実習のまとめ～事前アンケート分析～



分析：コミュニケーションの定義（重回帰分析）

→ 特に理由もなく集まれる
外出先で雑談ができる

コミュ満足UP
乖離DOWN

分析：事前アンケート（t検定）

→ 近隣住民との面識
交流スペースに満足する

コミュ満足UP
コミュ満足UP



実習のまとめ～提案・試行～



試行①：宿舎でパブリックビューイング

→「交流スペース満足」の**向上に成功!**

試行②：連絡掲示板

→「交流スペース満足」 **わずかに増**
コミュニケーション量 **わずかに増**



実習のまとめ～考察・今後の提案～



今後の持続性：

①宿舎でパブリックビューイング

宿舎棟内・外にかかわらず、
居住者の「興味」に対応できる提案が必要

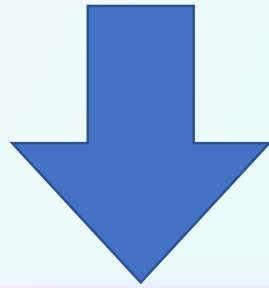
→実施時期、掲示板内容の改善



実習のまとめ



宿舎内のコミュニケーション満足度が上がる



所属の違う人たちとの交流
= **快適な生活** + **人生の財産**
(安心感・防犯) (思い出・友達・社交性)

君の名は。



謝辞



筑波大学 学生生活課厚生・宿舎チーム
大手 昇一 様
細沼 祐介 様

筑波大学施設部
施設サービス課 山田 慶一 様
施設企画課 鷺森 航太 様

コミュニティステーションの管理人の方々

指導教員：甲斐田直子先生
TA：増田祐太郎さん

連絡掲示板の試行と調査に
協力してくださった
一の矢学生宿舎 1A棟 3A棟の皆様

発表に助言をしてくださった
甲斐田研の学生の皆様

アンケートに協力してくださった
学生の皆様

(順不同)

ご協力いただきありがとうございました。



出典



【参考文献】

都市計画実習2015

スマートキャンパス班Why Japanese people！～どうして宿舎で交流しないの！～

http://toshisv.sk.tsukuba.ac.jp/jisshu/jisshu1/report/2015/g2_sc/

【写真引用先】

・スライド1

ココロのおはなし(<http://akita51.cocolog-nifty.com/blog/2011/09/post-bdf7.html>)

・スライド5

いらすとや(http://www.irasutoya.com/2014/05/blog-post_9404.html)

・スライド7.9

つくいえ(<https://tsukuba-daigaku.com/?p=15678>)

・スライド27

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター アクセシビリティ部門

(<http://dac.tsukuba.ac.jp/shien/support/career/>)



ご清聴ありがとうございました。